



印刷業界の財務分析

平成28年10月19日

財務診断研究会

中小企業診断士 池田安孝

日本標準産業分類（平成25年10月改定）（平成26年4月1日施行）

大分類 E 製造業

中分類 15 印刷・同関連業

小分類

150 管理，補助的経済活動を行う事業所（15印刷・同関連業）

1500 主として管理事務を行う本社等

1509 その他の管理，補助的経済活動を行う事業所

151 印刷業

1511 オフセット印刷業（紙に対するもの）

1512 オフセット印刷以外の印刷業（紙に対するもの）

1513 紙以外の印刷業

152 製版業

1521 製版業

153 製本業，印刷物加工業

1531 製本業

1532 印刷物加工業

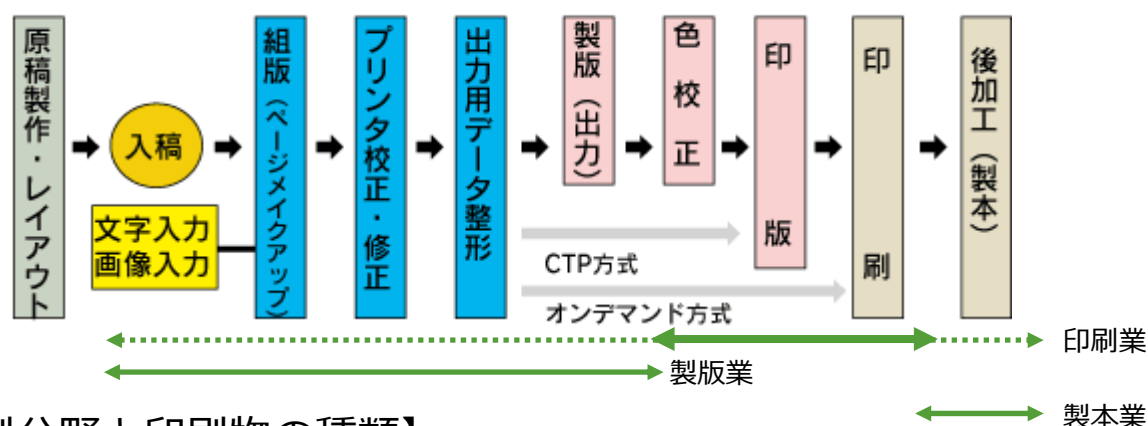
159 印刷関連サービス業

1591 印刷関連サービス業

印刷業とは

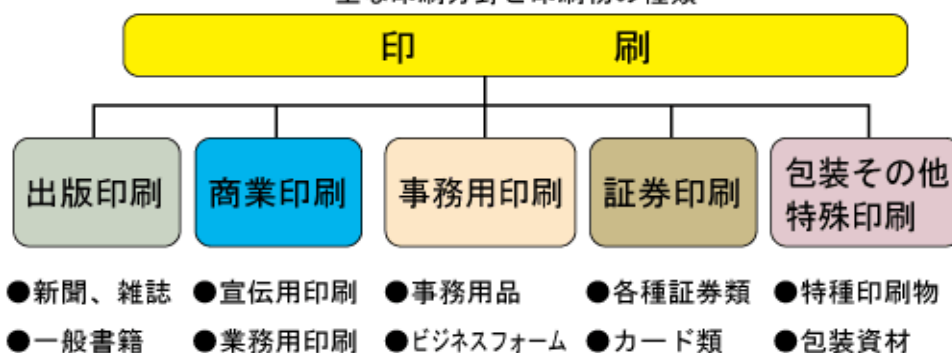
【印刷工程と分類】

印刷物が出来上がるまでの基本的な流れ



【印刷分野と印刷物の種類】

主な印刷分野と印刷物の種類



種類	概要
出版印刷	出版社や新聞社などが発行する商業出版物（書籍、雑誌、地図、教科書、学習参考書など）に対応する印刷分野をいいます。研究機関や団体が発行する書籍類も含まれます。
商業印刷	一般企業や団体の事業活動に使われる印刷物を対象とする印刷分野で、宣伝用印刷と業務用印刷に大別されます。 宣伝用印刷では、チラシ、パンフレット、リーフレット、ポスター、POPなどが主な印刷品目となります。 業務用印刷では、カタログ、会社案内、マニュアル、報告書、説明書、広報誌、社内報、名簿など、内部業務やコミュニケーション用の印刷物が主な印刷品目となります。
証券印刷	株券、商品券、チケットなど、金銭や信用に係わる証書類やカード類の印刷を証券印刷と総称します。総じて特殊な技術要素やノウハウが伴う印刷分野です。
事務用印刷	名刺、封筒、ノート、手帳などの事務用品一般と、伝票やビジネスフォームを印刷品目とする印刷分野です。 市販品は事務用品メーカーが印刷して文具店や書店で販売されますが、特注品の印刷加工は一般印刷会社で対応しています。ただし複合伝票やビジネスフォームの印刷加工については専門化しています。
包装その他特殊印刷	包装紙、紙器、ダンボール箱といった包装・荷造り資材の印刷と、工業製品に対する印刷（建材や布地へのプリント柄の印刷、電気・電子部品に対する印刷など）を総括した印刷分野です。印刷方法は、特殊印刷に分類される各種の印刷方式が使われます。



印刷方式の分類

【印刷の版式】

印刷の版式



●活版印刷 インキを付ける画線部は凸状、非画線部は凹状になっている版を使う。



●平版印刷 インキの付く画線部（親油性）と非画線部（親水性）が同一平面にある平らな版を使う。



●凹版印刷 画線部は版表面に対して凹状で、その穴に溜まったインキを転写できる版を使う。



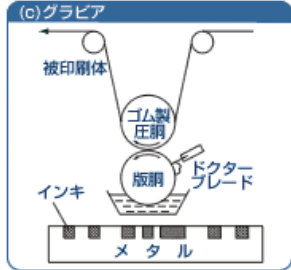
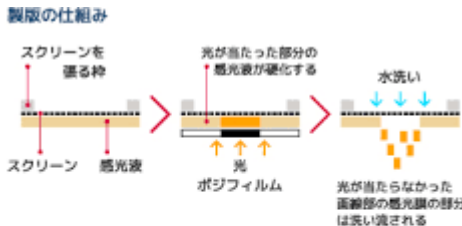

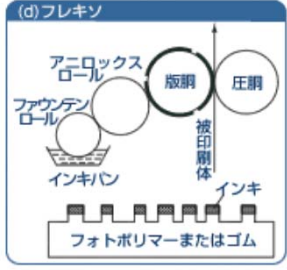
●孔版印刷 版に乗せて押し付けたインキが、通る部分と通らない部分がある版（スクリーン）を使う。

出典： <http://www.sagain.co.jp/know-how/part1/110/111.html>

【印刷方式】

種類	概要
とっ版印刷 (活版印刷)	<p>かつては新聞、雑誌、書籍の印刷に多用された印刷方式ですが、現在は葉書や名刺の印刷に姿を止める程度になってしまいました。文字組版には、鉛合金でできた活字（活きている字の意）を使うので活版印刷の呼び名が生まれたといわれています。</p> <p>版式としては凸版印刷であり、版は活字と写真製版した凸版（版材は1ミリ厚程度の銅板や亜鉛版）を組み合わせで作成します。それを平台式の活版印刷機に組み付けて枚英紙で印刷する方式が一般的ですが、新聞印刷などでは輪転機が使われていました。</p> <p>写真、絵画などを写真製版してカラー刷りする場合は原色版と呼び、口絵や美術書の印刷に使われることがあります。</p> <p>出典： http://iizuka.eshizuoka.jp/</p>
平版印刷 (オフセット印刷)	<p>版式としては平版印刷で、版材は薄いアルミ板でできているPS版（親水性層をもたせたアルミニウム板に感光液をあらかじめ塗布してある版材）を使うのが一般的ですが、樹脂板や板紙をベースとする版材を使うこともあります。</p> <p>オフセット（OFF・SET）とは「付けて離す」といった意味であり、この印刷方式の仕組みをそのまま表しています。</p> <p>オフセット印刷は、版のイメージを直に紙に転写するのではなく、版に付けたインキを一度ブランケットに転写（OFF）してから紙に転写（SET）する間接的な印刷です。</p> <p>機械には、枚葉印刷（印刷機には、1枚1枚が切り離されている枚葉紙をセットして印刷）と輪転印刷（印刷機には巻取り紙をセットして印刷するオフセット印刷）があります。</p> <p>出典： https://www.wave-inc.co.jp/data/dtp/offset.html</p>

印刷方式の分類

種類	概要
<p>おう版印刷 (グラビア印刷)</p>	<p>雑誌のグラビアページなどで馴染みのある印刷方式で、版式としては版表面が非印刷部分になる凹版印刷です。</p> <p>版は、版胴または版胴に巻きつけるラップア라운드版の表面をエッチングした状態に作成します。製版方法には、主なものでもコンベンショナル法、網グラビア法、電子彫刻法の3種類があり、印刷目的によって使い分けられています。</p> <p>コンベンショナル法は、写真グラビアのような高品位な印刷に適しています。網グラビア法は、新聞の日曜版、雑誌、DMなどの印刷に向いています。</p> <p>菓子や食品を包装するフィルム資材や袋の印刷には電子彫刻法が使われます。</p> <p>(c)グラビア</p>  <p>http://www.jpflexo.com/flexo/f-001.html</p>
<p>孔版印刷 (スクリーン印刷)</p>	<p>紙だけではなく、布、皮、ゴム、樹脂板、金属板などへの印刷が容易であるため、商業美術、生活用品、工業製品の分野で幅広く使われている印刷方式です。</p> <p>版式としては、「プリントごっこ」(理想化学(株)の商標)や謄写版印刷と同様の孔版印刷です。</p> <p>版材には、絹糸や化学繊維で織られた紗やステンレス製のスクリーンメッシュを、ステンレス枠にきつく張ったものを使います。そのスクリーン枠に感光剤を塗布して、文字や絵を焼き付けることで版が出来上がります。印刷は手刷りか半自動式の印刷機を使って行いますが、インキの乾燥が遅いので多色刷りや大量の印刷には時間がかかります。</p> <p>製版の仕組み</p>  <p>印刷の仕組み</p>  <p>http://www.toyoink.jp/ja/solution/screen/cnt5-1.html</p>
<p>フレキソ印刷</p>	<p>表面が平滑でない被印刷物への印刷に適した印刷方式です。版式としては凸版印刷で、版材には柔軟性のある樹脂板やゴム板(フレキシブルレリーフ)が使われます。</p> <p>印刷機は専用の輪転機が主で、印刷後にインラインでさまざまな加工ができるようになっています。</p> <p>ダンボール、紙袋、牛乳パックなどの紙器、封筒などの印刷が主な用途ですが、シール・ラベル、軟包装等フィルム、建材ほかへの印刷にも使われます。地球環境に優しい水性インキやUVインキが使えるので、グラビアに代わる印刷方式として評価が高まっています。</p> <p>(d)フレキソ</p>  <p>http://www.jpflexo.com/flexo/f-001.html</p>
<p>オンデマンド印刷 (狭義のデジタル印刷)</p>	<p>パソコンを使って作成したデジタル組版データから、ダイレクトに印刷物を作成する印刷方式です。</p> <p>使用する印刷機には、有版デジタル印刷機と無版デジタル印刷機の2種類があり、無版の場合を特にオンデマンド印刷(Print On Demand)と呼んでいます。小ロットの印刷物を短納期で仕上げられるのがオンデマンド印刷の特徴です。</p> <p>有版の場合は、ダイレクトイメージングまたはOn Press CTPとも呼ばれるように、印刷機にセットされた版にイメージングをする仕組みになっています。印刷品質はオフセット印刷と似ています。</p>



印刷業界の状況

【産業規模】

平成26年（2014年）の「工業統計表・産業編」（推計を含む全製造事業所に関する統計表）によると、印刷産業の事業所数は25,843で、全製造業24業種中、「金属製品製造業」、「食料品製造業」、「繊維工業」、「生産用機械器具製造業」に次ぐ5番目で全体の6.5%の規模となっています。

従業員数は297,776人で11番目（3.8%）、出荷額は5,536,486百万円（1.8%）で18番目の規模となっています。

【従業員数別の構成】

従業員300名以下の事業所が全体の99.8%を占めており、3人以下が50%を超えています。

	事業所数		従業者数		出荷額	
	事業所	構成比（%）	人	構成比（%）	百万円	構成比（%）
合計	25,843	100	297,776	100	5,536,486	100
3人以下	14,179	54.87%	28,896	9.70%	120,567	2.18%
4～9人	5,730	22.17%	33,858	11.37%	335,212	6.05%
10～19人	2,732	10.57%	37,046	12.44%	476,332	8.60%
20～29人	1,229	4.76%	29,745	9.99%	472,181	8.53%
30～49人	866	3.35%	33,650	11.30%	652,492	11.79%
50～99人	710	2.75%	48,758	16.37%	1,019,231	18.41%
100～199人	283	1.10%	37,394	12.56%	832,759	15.04%
200～299人	53	0.21%	12,903	4.33%	543,147	9.81%
300～499人	40	0.15%	15,265	5.13%	488,249	8.82%
500～999人	14	0.05%	10,511	3.53%	310,097	5.60%
1000人以上	7	0.03%	9,750	3.27%	286,219	5.17%
100人未満	25,446	98.46%	211,953	71.18%	3,076,015	55.56%
100人以上	397	1.54%	85,823	28.82%	2,460,471	44.44%

「平成26年（2014年）の「工業統計表・産業編」（推計を含む全製造事業所に関する統計表）」による

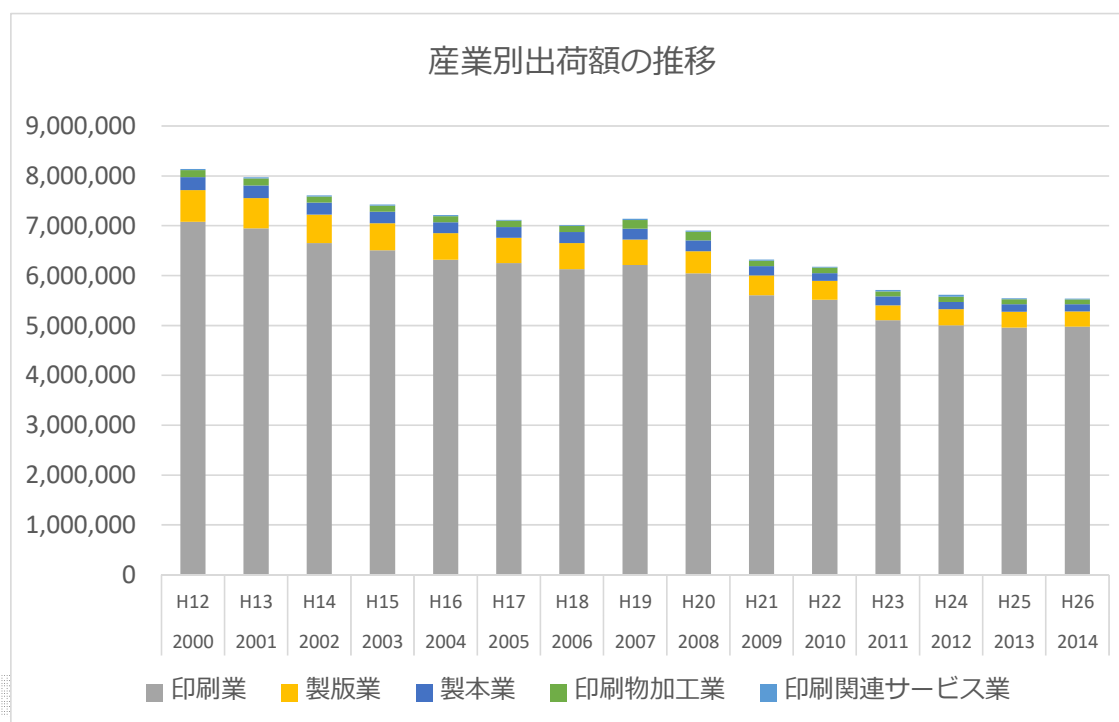
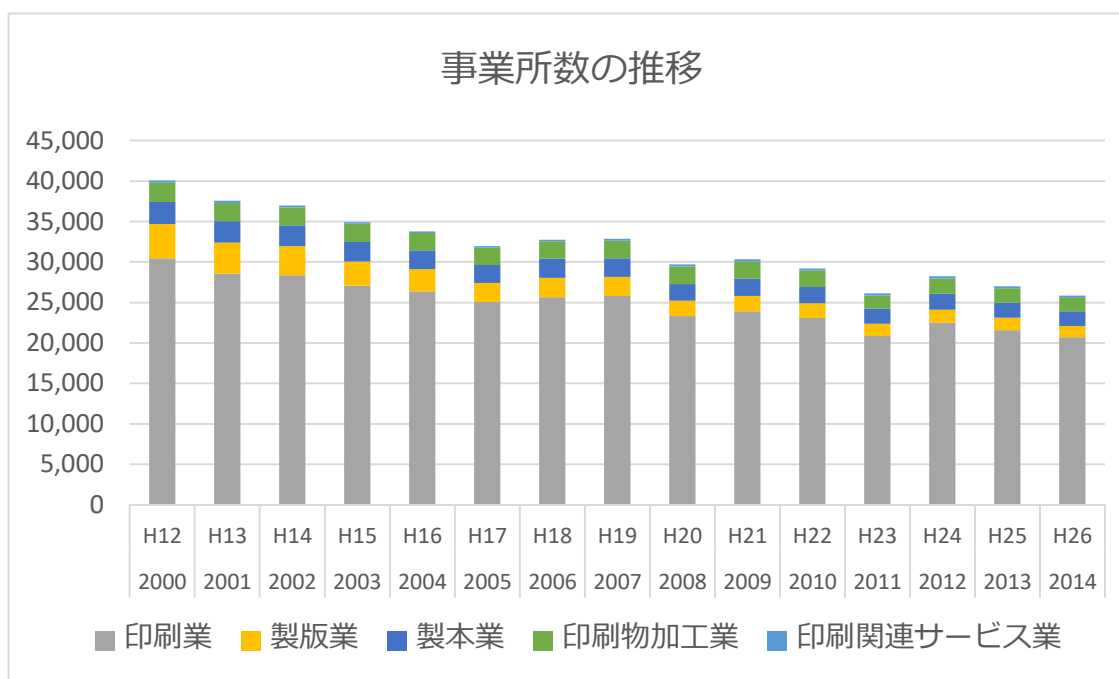


印刷業界の状況

【産業の推移】

事業所数は、平成12年（2000年）に対し全体として35%減少しており、特に製版業は67%の減少と他に比べて大きく減少しています。

製造品出荷額は、平成12年（2000年）に対し、全体として32%減少しています。また、製版業は52%の減少、製本業は44%の減少となっています。





主要印刷企業の売上高

網掛けが今回の事例企業

社名	売上高 (百万円)	決算月	特徴
凸版印刷	1,474,682	16/3	電子チラシサイト「Shufoo!」を実施
大日本印刷	1,455,900	16/3	液晶表面フィルムや液晶カラーフィルタ等の部材が好調
トッパン・フォームズ	273,217	16/3	ビジネスフォーム中心 凸版印刷子会社
日本写真印刷	119,222	16/3	
共同印刷	95,097	16/3	
大阪シーリング印刷	89,868	16/1	ラベル・フィルムに強い
佐川印刷	66,024	15/4	
図書印刷	55,271	16/3	凸版印刷子会社
朋和産業	54,200	16/3	軟包装を軸に展開 レンゴグループ
共立印刷	48,019	16/3	
竹田印刷	36,167	16/3	半導体関連各種マスクの設計・製造に特化した事業
廣済堂	35,444	16/3	
朝日印刷	34,966	16/3	医薬品・化粧品包材が中心
日本創発グループ	32,848	15/12	東京リスマチックを完全子会社化
プリントパック	20,600	15/4	インターネットを窓口とした印刷通販事業
光村印刷	17,575	16/3	
野崎印刷紙業	17,146	16/3	
宝印刷	14,669	16/5	ディスクロージャー並びにIR関連物の制作、印刷



事例企業の概要

企業名	凸版印刷株式会社	日本写真印刷株式会社	野崎印刷紙業株式会社
所在地	東京都台東区	京都市中京区	京都市北区
事業内容	総合印刷企業として、以下の3分野にわたり幅広い事業活動を展開 ・情報コミュニケーション事業分野 ・生活・産業事業分野 ・エレクトロニクス事業分野	4つの事業を展開 ・産業資材事業 ・デバイス事業 ・ライフソリューション事業 ・情報コミュニケーション事業	印刷事業として以下の部門を設けている。 ・商業印刷部門 ・包装資材及び紙器、紙工品部門 ・情報機器及びサプライ品部門
設立/創業	明治33年(1900年)	昭和4年(1929年)	慶応4年(1868年) 大正10年(1921年)
売上高	1,474,682百万円	119,222百万円	17,436百万円
従業員数	46,705人	4,034人	506人
主要取引先	国内外企業多数	APPLE OPERATIONS	日本郵便株式会社
特徴	・1900年の創業以来、「印刷技術」を進化させると同時に、事業領域の拡大に努めている。 ・「印刷技術」にさまざまな知識・ノウハウと加工技術が融合し、進化することで、トップは独自のリソースとして「印刷テクノロジー」を体系化 ・メディア事業として、国内最大級の電子チャシサイト「Shufoo!」を運営	・中小型タッチパネル分野で世界トップクラスの技術 ・売上高は海外向けが76% ・従来の「印刷」のイメージとは違い、印刷技術を応用したNissha独自の事業が全体の80%を占めている。	・包装資材や紙器・紙工品の大手。 ・情報機器も手掛けタグ・ラベル高シェア。環境対応製品を強化



凸版印刷株式会社

【経営理念】

私たちは
常にお客さまの信頼にこたえ
彩りの知と技をもとに
こころをこめた作品を創りだし
情報・文化の担い手として
ふれあい豊かに暮らしに貢献します

【事業内容】

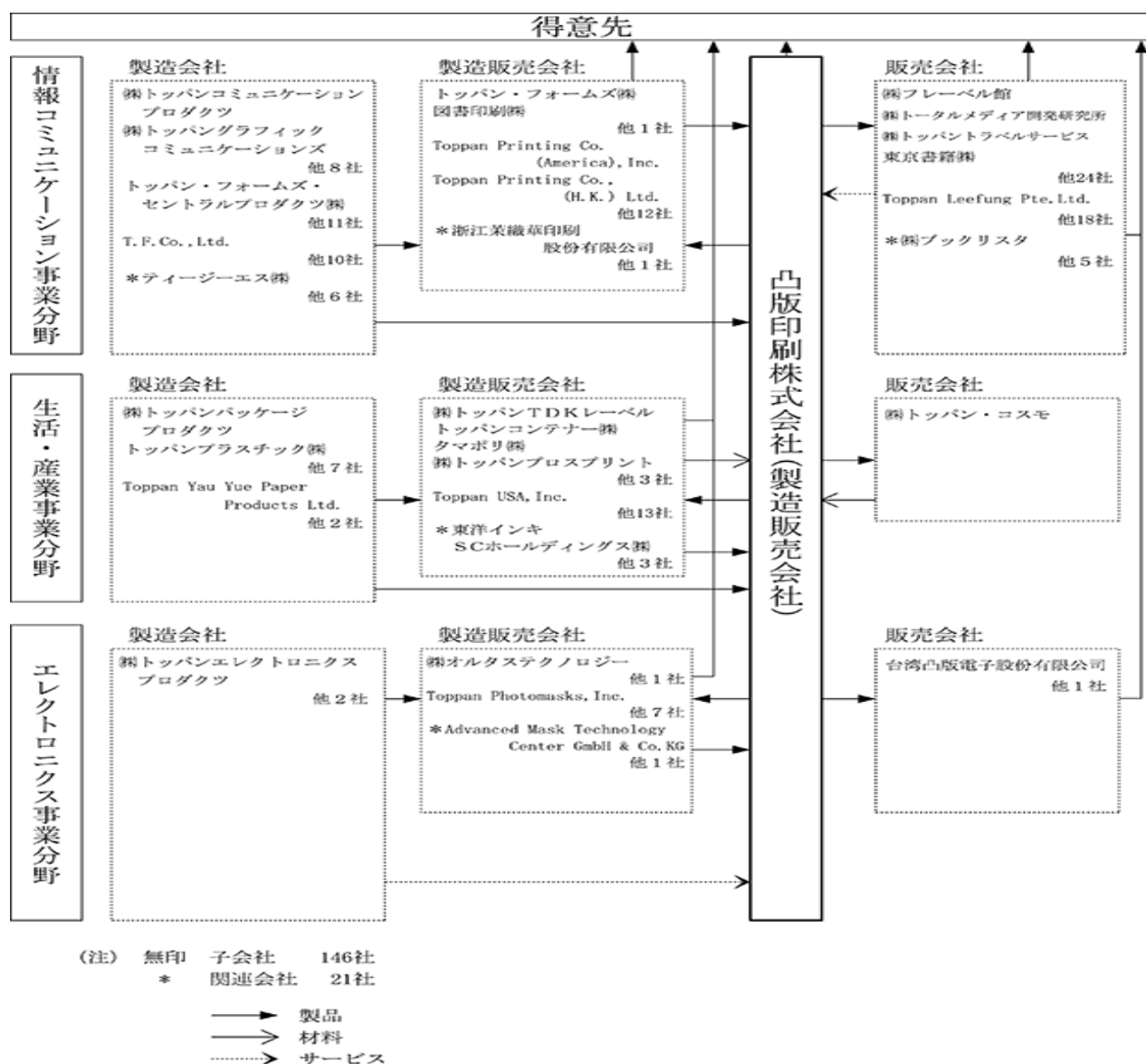
トッパンは、「印刷テクノロジー」をベースに「情報コミュニケーション事業分野」、「生活・産業事業分野」および「エレクトロニクス事業分野」の3分野にわたり幅広い事業活動を展開しております。

分類	製品・サービス
情報コミュニケーション事業分野	<ul style="list-style-type: none"> マーケティング：CRMツール「お買い物アプリ」、マーケティングリサーチ、クチコミ分析サービス『Social Media Live!』（ソーシャルメディアライブ）等 プロモーション：デジタルサイネージソリューション ReView、O2O（オンライン トウ オフライン）プロモーション等 メディア：電子オリコミサービス「Shufoo!」、万能書店、MAPION等 クリエイティブ/コンテンツ：電子出版ソリューション、360°空間シミュレータ等 業務効率化/業務インフラ構築：ペーパーレス申込システム「SpeedEntry plus」、BPOソリューション 等 セキュリティ：IDカード（社員証・学生証・会員証など）のIDカードのカード製造・新規発行・再発行運用に至るまでのサポート、ICカード即時発行、ICタグソリューション 等 コーポレートコミュニケーション：ブランドコンサルティング、キッズデザインマーケティング 等
生活・産業事業分野	<ul style="list-style-type: none"> パッケージ <ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療・医薬用包材、スタンディングパウチ、蒸気抜き包材、カートカン、環境配慮型カップ、GLフィルム（軟包装）、軟包装、カップ、紙器／表面加飾、プラスチック成型品、液体複合容器、段ボール（美粧段ボール、マイクロフルート、段ボール製POP、TPトレー、機能性段ボール）、商品企画 等 建装材 <ul style="list-style-type: none"> ✓ マテリアルウッドAL、タイガレックス [不燃素材]、アドグリーンコート [遮熱・排熱塗料]、マルチレイヤーNANO 70S・80S [高透明遮熱フィルム] 等 高機能エネルギー関連 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 透明バリアフィルム、エレクトロニクス包材、プリンタ用記録メディア（昇華型、溶融型）、リチウムイオン二次電池用外装材 等
エレクトロニクス事業分野	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイ関連製品 <ul style="list-style-type: none"> ✓ LCD用カラーフィルタ、銅タッチパネル、反射防止フィルム 等 高機能エネルギー関連 <ul style="list-style-type: none"> ✓ フォトマスク、半導体パッケージ関連商品、エッチング応用製品、LSI設計・LSIターンキーサービス、オンチップカラーフィルタ 等



凸版印刷株式会社

【事業系統図】



【沿革】

- 明治33年 1月 凸版印刷合資会社として設立(東京市下谷区二長町)。
- 昭和24年 5月 東京証券取引所に株式を上場。
- 昭和36年 1月 「凸版印刷サービスセンター(現 トッパンアイデアセンター)」を新設。
- 昭和40年 5月 ムーア社(カナダ)との合併で、トッパン・ムーア・ビジネスフォーム株式会社平成9年3月 トッパン・ムーア株式会社(現 トッパン・フォームズ株式会社)を完全子会社化。
- 平成10年 3月 トッパン・フォームズ株式会社、東京証券取引所市場第一部に株式を上場。
- 平成17年 4月 米国デュポンフォトマスク社(現 Toppan Photomasks, Inc.)を買収。
- 平成20年 7月 SNP Corporation Limited(現 Toppan Leefung Pte. Ltd.)を買収。
- 平成21年 4月 製造部門を分社化し、株式会社トッパンコミュニケーションプロダクツ、株式会社トッパンパッケージプロダクツ、株式会社トッパンエレクトロニクスプロダクツを設立。
機能性フィルムの生産拠点となる深谷工場を新設。
- 平成25年 4月 東南アジア地域におけるセンターとして、シンガポール支社を設立。
- 平成25年10月 高セキュリティ対応のグループ・データセンターを新設。
- 平成26年 4月 国内外の軟包装材生産のマザー工場となる群馬センター工場を新設。
- 平成28年 4月 透明バリアフィルムの生産拠点としてToppan USA, Inc.ジョージア工場を新設。



日本写真印刷株式会社

【経営理念】

「印刷を基盤に培った固有技術を核とする事業活動を通して、
広く社会との相互信頼に基づいた《共生》を目指す。」

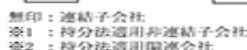
【事業内容】

当社グループは、当社、連結子会社31社、非連結子会社1社および関連会社2社で構成され、産業資材、デバイス、情報コミュニケーション、その他の生産および販売を主な内容とし、企画、製作、開発およびその他の事業活動を展開しております。

部門	概要
産業資材	<p>さまざまな素材の表面を美しく彩る独自技術を有する、産業資材事業の主力製品は、立体形状のプラスチック表面に成形と同時に絵柄・機能を転写する「成形同時加飾技術 IMD」と、印刷関連資材「蒸着紙」がある。</p> <ul style="list-style-type: none">• IMDは（In-mold Decoration）の略語で、射出成型の金型内で転写箔を用いて、加飾と成型を同時に行う技術であることから名付けられた当社独自の造語• 蒸着紙は、基材(紙)の表面に金属層を真空蒸着し、メタリック調の装飾効果を付与した特殊紙です。金属のようでありながら、生分解性に優れるなど紙の特性を持つ蒸着紙は、環境に配慮したパッケージとして注目が高い。現在は、世界80カ国・約300社の飲料品ラベルや食品や日用品パッケージなどの製品に広く使用されており、開発・生産は、Nisshaグループ会社のAR Metallizingグループが行っている。• プラスチック成形品のみならず金属やガラスなどへの加飾を可能にする熱転写箔。日本初のヒートトランスファーフォイル（熱転写箔）を開発して以来、NISSHAの独自技術は「ニッサパトラン」のブランド名として展開。IMD工法では対応が困難である小ロット多品種と複雑な3次元形状への追従性を実現する加飾ソリューションとして、3D昇華転写を提供。
デバイス	<p>フィルムベースのタッチセンサー「FineTouch」を主力製品とし、精密で機能性を追求したデバイスを提供。「FineTouch」は、タブレット端末やスマートフォン、携帯ゲーム機、産業機器、自動車などに幅広く採用されている。圧力の強弱を検知するフォースセンサーなどの新製品開発を進めているほか、ガスや呼気などを検知するガスセンサー、生体センサー、IoT市場向けの無線センサーネットワークなど、タッチセンサー以外の事業展開も推進している。</p>
情報コミュニケーション	<p>印刷を基盤に培ったコミュニケーション設計と情報加工の技術で新たな価値を創出する事業。マーケティングやセールスプロモーション、高品位な印刷メディア、インターネットを活用したコミュニケーション戦略、デジタルアーカイブなど、お客さまに多彩なソリューションと製品を提供。</p>
ライフイノベーション事業 ※2016年8月より	<p>医療機器やその関連分野において、高品質で付加価値の高い製品を提供し、世界中の人々の健康で豊かなライフスタイルへの貢献を目指す事業です。主力製品は医療機関向けのディスプレイ電極や手術用器具などの医療機器であり、現在は欧米市場において自社ブランド品を生産・販売するとともに、大手医療機器メーカー向けの受託生産事業を展開。</p>
その他	<p>人材派遣事業等はニッサビジネスサービス㈱が行っております。</p>



(海 外)



1946年12月	日本写真印刷株式会社設立
1969年 4月	東京証券取引所市場第二部に株式上場(1979年9月、第一部に指定替え)
1993年 1月	米国にNissha USA, Inc.設立
1995年 3月	マレーシアにSouthern Nissha Sdn. Bhd.設立
1996年11月	韓国にニッサコリア株式會社設立
1999年12月	ナイテック工業株式会社設立
2001年12月	中国に広州日写精密塑料有限公司設立
2007年	静電容量方式タッチパネルを発売
2013年 4月	ナイテック・プレジジョン・アンド・テクノロジーズ株式会社がナイテック・プレジジョン株式会社を吸収合併
2015年 1月	Nissha USA, Inc.とEimo Technologies, Inc.がPolymer Tech Mexico, S.A. de C.V.(メキシコ)を買収(現：PMX Technologies, S.A. de C.V.)
2015年 8月	H.I.G. Luxembourg Holdings 28 S.à r.l.(ルクセンブルク)を買収(現：Nissha Luxembourg Holdings S.à r.l.)し、同社およびその傘下にある事業会社のAR Metallizing N.V.およびそのグループ会社を子会社化
2015年12月	AR Metallizing N.V.およびARM Embalagens Ltda.を通じて、Málaga Produtos Metalizados Ltda.(ブラジル)を買収。
2016年 8月	アメリカの医療機器メーカーGraphic Controlsグループを買収



野崎印刷紙業株式会社

【経営方針】

当社及び連結子会社は、印刷媒体を中心とする総合情報企業として、お客様の要望にお応えし満足していただける製品を提供し、企業体質の強化と収益の向上を目指し、株主の皆様をはじめとする全てのステークホルダーの信頼にお応えできるよう尽力いたします。

【事業内容】

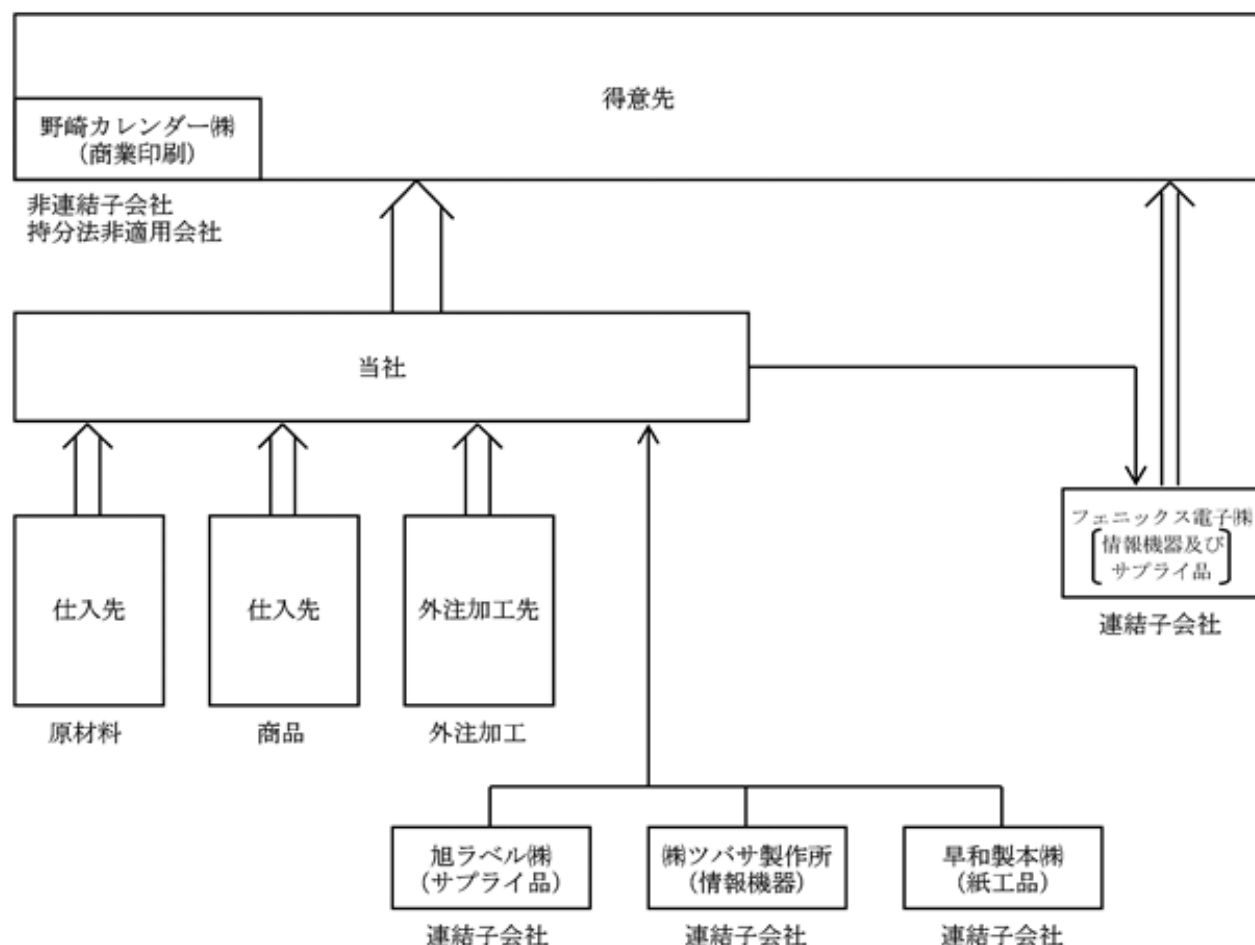
当社及び連結子会社は、当社及び子会社5社で構成され、事業の種類別セグメントとしては印刷事業のみを行っております。

部門	概要
商業印刷部門	<p>カレンダー、カタログ、パンフレット、ダイレクトメール、ポスター、高級美術印刷等、当社が製造、販売するほか、子会社野崎カレンダー(株)に対しては当該製品の一部を販売しております。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 高級美術印刷は、次世代印刷を支えるNOZAKI：FMスクリーン印刷・ 別注品から既製品までのニーズに企画・提案を含めて幅広くお応えするのはもちろん、ペーパーフック製本などのエコ技術を使い、環境に配慮した製品作りを心掛け。・ その他、商業印刷では、企画から印刷までの全工程を通じてそれぞれのエキスパートを配置
包装資材及び紙器、紙工品部門	<p>包装紙、紙袋類、紙器類、ビジネスフォーム類等、当社が製造、販売するほか、子会社早和製本(株)に小ロットの製造並びに作業工程の一部を下請けさせております。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 独自のノウハウにより水性フレキソ印刷で高品質な製品を実現・ 軟包装衛生協議会認定の自社工場で食品用から工業用包装材まで多岐にわたり高品質な安全性の高い製品を生産・ 環境保全までを見据えたパッケージづくり・ 手提紙袋、宅配袋、オフセット包装紙等の自社生産技術の蓄積によるトータルアイテムのご提案
情報機器及びサプライ品部門	<p>バーコードプリンター、フルカラーカードプリンター及びタグ類、ラベル類、シール類等、当社が製造、販売するほか、子会社旭ラベル(株)は当該製品について、印刷、製造の一部を担っており、また情報機器については、子会社(株)ツバサ製作所に一部下請けさせるとともに、子会社フェニックス電子(株)に対しては当該製品の一部を販売しております。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 他社に先駆けて開発したバーコードシステムの主要機器として、作業現場での情報管理をサポートするプリンターを製造。量販店をはじめとする流通現場でのSAや工場・物流拠点を中心とするFAなど、各分野のニーズに広くお応えして、高く評価されている製品を提供・ 用途に応じて選べるフルカラーカードプリンターを各種取り揃え
その他の部門	<p>高圧ポリ袋、中低圧ポリ袋、キャリーバッグ、ビニール袋等、当社が製造、販売しております。</p>



野崎印刷紙業株式会社

【事業系統図】



【沿革】

- 慶応4年 野崎茂七が呉服値札業を創業。
- 大正10年 雑貨値札、シーリングスタンプ等あらゆる値札類の製造開始。
- 昭和28年11月 昭栄堂製本(株) (現 早和製本(株)) 設立。(現 連結子会社)
- 昭和30年5月 野崎カレンダー(株) 設立。(平成8年12月 (新) 野崎カレンダー(株) (現 非連結子会社) に事業継承)
- 昭和32年6月 名古屋営業所開設。(現 中部事業所)
- 昭和34年11月 京都第一工場 (京都市南区) 新設。
- 昭和36年12月 大阪証券取引所 (平成25年7月東京証券取引所に統合) 市場第二部に株式上場。
- 同 京都証券取引所 (平成13年3月大阪証券取引所に吸収合併) に株式上場。
- 昭和37年8月 野崎印刷紙業株式会社に商号変更。
- 昭和38年11月 関東工場 (埼玉県鴻巣市) 新設。
- 昭和45年4月 (株) ツバサ製作所 設立。(現 連結子会社)
- 昭和45年7月 新潟営業所開設。
- 昭和46年10月 丹波工場 (京都府船井郡) 新設。
- 昭和50年1月 東京証券取引所市場第二部に株式上場。
- 昭和54年12月 フェニックス電子(株) 設立。(現 連結子会社)
- 昭和57年9月 事業目的に不動産の賃貸及び管理業務を加える。
- 平成2年8月 旭ラベル(株) 設立。(現 連結子会社)
- 平成5年12月 園部工場 (京都府南丹市) 新設。
- 平成8年10月 松山出張所開設。(現 松山営業所)。



各企業比較

【経営指標】

経営指標	(単位)	凸版印刷			日本写真印刷			野崎印刷紙業		
(1) 総合収益性分析		H26/3	H27/3	H28/3	H26/3	H27/3	H28/3	H26/3	H27/3	H28/3
A. 総資本当期純利益率 (ROA)	(%)	1.20	1.15	1.88	3.74	9.74	4.42	1.59	1.19	1.53
B. 自己資本当期純利益率 (ROE)	(%)	2.26	2.11	3.30	7.68	16.96	9.84	5.82	4.16	5.02
(2) 売上高利益率分析										
A. 売上高対総利益率 (粗利益率)	(%)	16.45	16.66	18.00	15.35	21.10	24.41	16.28	15.59	17.26
B. 売上高対営業利益率	(%)	2.33	2.68	3.29	1.74	7.37	8.84	2.42	0.64	3.05
C. 売上高対経常利益率	(%)	2.46	2.96	3.52	4.67	10.52	7.75	2.36	0.58	3.02
D. 売上高対当期純利益率	(%)	1.35	1.50	2.39	3.58	9.47	5.79	1.20	0.99	1.15
E. 売上高対販売管理費比率	(%)	14.12	13.99	14.71	13.60	13.73	15.57	13.86	14.95	14.22
(3) 損益分岐点分析										
A. 損益分岐点売上高 (採算点)	(百万円)	1,314,896	1,281,622	1,205,013	98,314	77,302	76,029	15,150	15,871	14,357
B. 損益分岐点比率 (余裕度)	(%)	14.17	16.06	18.29	11.37	34.92	36.23	14.88	4.07	17.66
(4) 回転率・回転期間分析										
A. 総資本回転率	(回)	0.89	0.77	0.79	1.05	1.03	0.76	1.33	1.21	1.34
B. 固定資産回転率	(回)	1.75	1.43	1.44	1.91	2.14	1.65	2.46	2.28	2.48
C. 売上債権回転期間	(日)	94.85	98.00	96.74	53.48	57.26	66.33	70.32	70.09	60.40
D. 棚卸資産回転期間	(日)	20.95	21.79	20.97	25.75	25.28	44.56	24.02	30.22	28.56
E. 買入債務回転期間	(日)	65.90	54.78	43.91	68.37	60.74	75.80	105.44	109.32	101.64
(5) 生産性分析										
A. 従業員一人当たり年間売上高	(千円)	31,426	31,162	31,574	32,788	33,030	29,554	34,695	33,492	34,459
B. 従業員一人当たり年間当期純利益	(千円)	423	469	755	1,173	3,324	1,710	417	318	395
(6) 短期支払能力分析										
A. 流動比率	(%)	199.14	179.37	184.42	107.29	148.82	172.51	83.46	88.76	89.87
B. 当座比率	(%)	140.92	122.51	136.72	81.72	123.72	131.47	67.02	68.89	68.97
(7) 資本の安定性分析										
A. 自己資本比率	(%)	45.73	46.79	49.78	48.69	57.45	44.90	26.62	27.94	29.53
B. 負債比率	(%)	87.53	84.20	75.90	105.39	74.07	122.70	264.91	248.30	227.20
(8) 調達と運用の適合性分析										
A. 固定長期適合率	(%)	67.77	72.34	72.42	94.67	73.81	67.15	120.44	112.62	110.69
B. 固定比率	(%)	95.90	98.81	96.02	112.35	83.61	102.93	196.56	184.82	176.25
(9) 成長性分析										
A. 売上高成長率	(%)	-	△ 0.33	△ 3.42	-	7.08	0.38	-	△ 7.04	5.39
B. 経常利益成長率	(%)	-	19.96	14.61	-	141.10	△ 26.07	-	△ 77.20	450.03
C. 販売管理費増減率	(%)	-	△ 1.27	1.54	-	8.10	13.78	-	0.33	0.18
D. 従業員数増減率	(%)	-	0.51	△ 4.68	-	6.30	12.18	-	△ 3.70	2.43
E. 資産増加率	(%)	-	16.49	△ 6.29	-	8.75	26.06	-	2.01	△ 4.94
(10) 付加価値分析										
A. 加工高比率	(%)	16.45	16.66	18.00	15.35	21.10	24.41	41.72	43.20	43.96
B. 労働分配率	(%)	36.19	35.54	33.53	23.36	17.76	17.28	55.44	56.46	54.77
C. 資本生産性	(%)	14.72	12.76	14.14	16.04	21.71	18.64	55.40	52.27	58.83
D. 付加価値生産性	(千円)	5,170	5,193	5,683	5,032	6,969	7,214	14,475	14,468	15,148
(11) その他										
A. 借入金依存度	(%)	19.24	17.94	14.98	16.11	8.76	23.40	17.40	22.05	20.71



ワークシート

本資料、各社財務諸表などを参考に、各社の特徴、経営課題を推測してください。
また、その他、気が付いたことがあれば挙げてください。

凸版印刷の特徴・経営課題

日本写真印刷の特徴・経営課題

野崎印刷紙業の特徴・経営課題

その他、気が付いた点